

5 歯・口腔

生涯を通じて健やかな生活をおくるために、口腔機能は大きな役割を果たしており、口腔機能を維持することは、健康寿命の延伸につながります。

口腔機能を維持するためには、乳幼児期から学齢期を通じて継続したむし歯予防と、歯の喪失につながる主な原因である歯周病を予防することが重要です。

市の現状から、各ライフステージにおいて、歯科健診（検診）の機会を設け、自分の歯や口腔の状況を知ること、むし歯や歯周病を予防する取り組みを進めます。更に、歯科健診（検診）などをきっかけに、かかりつけ歯科医を持ち、定期的に受診することなど、予防歯科の必要性を周知します。

また、よく噛んで食べる（咀嚼回数を増やす）習慣を呼びかけ、一人ひとりが自分の歯や口腔に関心を持つことで、口腔機能の獲得、維持、向上に努めます。

課題

- ◎むし歯の罹患率が、幼児期から小学生まで年齢が上がるにつれ上昇しています。
- ◎20歯以上の自分の歯を有する人の割合が、国・県と比較し、成人期全ての年代で低い状況にあります。

目標

- ◎いつまでも自分の歯で美味しく食べるために、歯と口腔の健康づくりを推進します。

短期目標（6年間）

- 成人期での歯科健診（検診）に取り組むことで、定期的に健診を受ける人を増やします。
- むし歯罹患率の更なる減少と歯周病予防に取り組めます。

取り組み

【重点にすること】

○一人ひとりの取り組み（自助）

- 乳幼児期から歯科健診や保健指導を受けよう。
- かかりつけ歯科医を持ち、定期的に歯石除去やブラッシング指導を受けよう。
- 口腔機能を保つために、よく噛んで食べよう（咀嚼の回数を増やそう）。

○地域での取り組み（互助・共助）

- 家族、知人に歯科健診（検診）の受診を勧めよう。
- 保育園・幼稚園、小・中学校でブラッシング指導・フッ化物洗口などに取り組もう。
- 事業所で職場健診の中に歯科健診（検診）を取り入れよう。

○市の取り組み（公助）

- 成人期（特に妊娠期）の定期歯科健診（検診）、保健指導の受診促進につながる施策を実施します。
- かかりつけ歯科医を持つことや歯科医を定期的に受診する予防歯科の必要性を周知します。
- フッ素塗布やフッ化物洗口の取り組みを強化します。

【ライフステージ別】

柱		取り組み(○重点取り組み ◆既存事業)			
		妊娠期、乳幼児期	学齢期 (6～19 歳)	成人期 (20～64 歳)	高齢期 (65 歳以上)
むし歯・歯周病予防	一人ひとりの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・よく噛んで食べる（咀嚼回数を増やす） ・歯科健診（検診）を受ける ・かかりつけ歯科医を持ち定期的に受診する 			
	地域での取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科健診（検診）受診を勧める ◆保育園での歯科健診・フッ化物洗口（実施園の拡大） 		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所で歯科健診（検診）に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ◆フレイルチェック ◆オーラル体操
	市の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・妊婦歯科健診の費用助成の検討 ◆両親学級での講話（母子手帳交付時にちらし等配布） ◆乳幼児健診時等の歯科健診・フッ素塗布 ◆歯科健診・歯科保健指導 ◆乳幼児相談時の歯科保健指導 ◆フッ化物洗口 ◆親子はみがき教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・フッ化物洗口（小・中学校での取り組みを検討） ◆学校歯科健診 ◆歯磨き指導 ◆よく噛んで食べる（咀嚼）取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ○成人歯科健診（検診） 	<ul style="list-style-type: none"> ◆フレイル予防（口腔機能） ◆後期高齢者歯科健診（後期高齢者医療広域連合） ◆オーラル体操の実施、普及啓発 ◆歯科医師等のミニ講話

評価指標

評価項目
 モニタリング（毎年評価）

指標	現状値（年度）		目標値	出典
	市	県		
一人平均残存歯数 （60歳代で24歯以上の割合）	(H29) 47.4%	(H28) 61.2%	70%	健康づくりに関するアンケート
過去1年間に歯科健診（検診） を受診した者の割合	(H29) 36.1%	(H28) 43.4%	50%	健康づくりに関するアンケート
むし歯のない子どもの割合 （1.6歳児） （3歳児）	(H28) 98.4% 90.1%	(H28) 99.1% 87.8%	100% 100%	鳥取県西部歯科保健推進協議会
むし歯のない児童の割合 （小学生）	(H28) 49.8%	(H28) 46.2%	50%	学校保健統計調査
むし歯のない生徒の割合 （中学生）	(H28) 61.2%	(H28) 55.4%	70%	学校保健統計調査
仕上げ磨きをしている3歳児の 割合（毎日みがく）	(H29) 92.0%	—	100%	3歳児健診歯科アンケート